

# 合併協議会だより

第3号

発行：阿智村・清内路村合併協議会 〒395-0303 下伊那郡阿智村駒場483番地 阿智村役場内  
 電話 0265-43-2220 FAX 0265-43-3940 ホームページ：http://amalgama.seinaiji.jp/



新しい村づくり会議の様子

## 「新しい村づくり会議」

### 開催状況の詳細

今年3月から7月まで、両村の住民代表の委員20名による「新しい村づくり会議」が、5回にわたり開催されました。今回の合併協議会だよりでは、会議の場で話し合われた内容について、詳しくお伝えします。

会議では新村の姿や望ましいあり方について意見交換を行い、合併後の村づくりの核となる「阿智村・清内路村新しい村づくり計画（合併市町村基本計画）」の素案を取りまとめました。

## 新しい村のあり方について

### 意見抽出

(第1回～第3回まで)

第1回から第3回までの新しい村づくり会議では、新しい村づくり計画の策定に向け、テーマごとに、各委員が自由に意見を述べ合う形で進められました。

会議で話し合われたテーマのうち、主なものは次のとおりです。

阿智・清内路両村に共通して課題となっている人口の減少については、会議の中でも特に時間をかけて話し合われました。

## 人口増加対策

自分の住む地域で子どもの姿が少なくなつたこと、若者の都会への流出が進んでいることなど、各委員からは実際に地域で生活する立場から問題の指摘がありました。その上で、ＩターンやＵター

### 新しい村づくり会議 委員名簿（敬称略）

阿智村		清内路村	
部落	氏名	地区	氏名
七久里	塩澤悦夫	下清	岡本雄太
中関下	内田咲子	下清	桜井成人
馬場	片桐奨悟	上清	桜井信和 (副会長)
下郷	井原春江	下清	桜井久
下平	熊谷紀夫	下清	樽沢和子
濃間	渋谷章行	上清	原章博
治部坂	川上敦子	下清	原和寛
栄町	原拓伸 (会長)	上清	原佳世
下郷	塚田順二	下清	原京子
中野	金田智代	上清	原勇二

ンを進めるなど人口を維持していくために、次のような対策に取り組んでいくことが提案されています。

### ●住まいの確保

若者向けには安い家賃の公営住宅を用意する。また、阿智村が実施している定住を目的とした土地取得や住宅建築費への補助金の交付を進めていくことなど。

### ●インフラの整備

田舎暮らし希望者の受入れのためにも、清内路村の「出作りの家」など山間部で道路や水道の整備が進んでいないところについては、住民参加によるインフラ基盤の整備も進めるなど。

### ●雇用の場の確保

若い人の働く場の確保は、定住人口の増加に直結する。山林や農業などが持つこの地域の特色を活かした産業振興を図り、雇用の場を確保していくことなど。

### ●交流の拡大

農家民泊や統合後の清内路中学校の校舎を活用した村外との交流を活性化し、結婚や定住に結びつけることなど。

### ●その他

・子どもが地域での生活に誇りを持てるよう、まず親自



## 清内路村の 地域資源・特色

身が積極的に地域づくりに参加する姿を見せていく。インターネットなどを活用して、積極的な情報発信を行い、村外との交流やインターンの受入れを図る。

清内路村の地域資源や地域づくりの活動を、新しい阿智村でどのように活用していくかについても話し合われました。

清内路村には、手づくり花火や清内路あかね(赤根大根)などの伝統野菜、箱寿司などの郷土食など、昔から今に継承されている伝統文化があり

ます。これらを新村で、地域振興や観光資源として積極的に活用していく方法が検討されました。

また、一番清水や花桃、小黒川のミズナラ(おおまき)などの自然環境と、このような地域の宝を守っている住民グループの活動についても、新村でさらに活性化し、地域振興につなげていくことも話し合われています。

## 自治組織づくり

これから合併に向けて自治組織づくりに取り組む清内路村に対し、阿智村の委員から、自治組織の立ち上げや運営についてアドバイスする場面もありました。

## 新しい村づくり計画の 策定に向けて

(第3回～第5回まで)

第3回の会議からは、「新しい村づくり計画」の素案作りが進められました。

素案作成にあたっては、平成18年に阿智村と浪合村が合併した際の「新村建設計画」と、この春に策定された「阿

智村第5次総合計画」をベースとし、新しい村づくり会議で議論された内容を加味していく形で進められました。

特に第4回・第5回の会議では、この計画の顔ともなる「新村の将来像」について集中的に議論が行われました。

委員からは、新しい村を象徴する言葉として「伝統」や「ぬくもり」などの言葉を入れることや、「住民による村づくり」、「都会に出た子どもが帰ってきてホッとできる場所」、「住んでいて誇りの持てる村」などのニュアンスを入れてはどうかななどの意見もありました。

これらの意見を総合する形で、新村の将来像は「歴史・伝統・文化 地域の宝を活かして 住民がつくるぬくもりの村」に決まりました。

## 今後の「新しい 村づくり会議」

新しい村づくり計画素案の作成は終了しましたが、今後新しい村づくり会議は継続し、両村の合併について住民代表の立場から地域づくりについて発言する組織として存続することとなっています。

## 新しい村づくり計画の 重点施策について

新しい村づくり計画における重点施策については、7月に行われた第2回合併協議会での議論を受け、次のとおりとしています。

### 重点施策

- ①人々の交流で活かす地域資源(観光資源の活用と連携、都市との交流、産業の振興)
- ②経済が活性化した豊かな村づくりのために
- ③ふるさとを担う人づくり(教育・文化の振興、福祉・保健・医療の充実)
- ④子どもから高齢者までだれもが安心して暮らせる村づくりのために
- ⑤住民主体の持続可能な村づくり(集落の維持、自治組織の振興、行政の効率的運営)
- ⑥住民一人ひとりが参画する活力ある村づくりのために

# 長野県市町村合併構想(案)の内容

長野県では、阿智村と清内路村からの申入れを受け、「市町村の合併の特例等に関する法律」(合併新法)に基づき、合併構想の策定を進めています。7月4日の長野県市町村合併審議会からの答申を受け、県民からの意見募集を経て策定されることとなっています。

この長野県市町村合併構想(案)の主な内容をご紹介します。

## I 市町村の現況及び将来の見通し

- 地方分権の推進
- 人口減少・少子高齢社会の進行
- 広域的な行政需要の増大
- 国・地方を通じた厳しい財政状況

## II 自主的な市町村の合併の推進に関する基本的事項

- 市町村の望ましい姿
  - ・新たな行政課題に対応できる職員体制の維持・専門性を備えた人材の確保・育成、将来的にも安定した財政運営の確保といった行財政基盤の強化が必要
- 市町村合併の必要性
  - ・市町村合併は、将来にわたり持続的に行政サービスを維持・向上していくための安定した行財政基盤を備えるためには極めて有効な手段のひとつである。
- 県の役割(基本姿勢)
  - ・地域における真剣な議論・検討が必要であり、そのための助言や情報提供等を積極的に行う。
  - ・合併を選択した市町村に対しては最大限の支援を行う。

## III 構想対象市町村の組合せ

＜構想対象市町村の組合せに係る基本的考え方＞

関係する全市町村で法定合併協議会が設置されるなど、合併に向けて地域で十分議論・検討がなされており、関係市町村の全部から申入れがあった場合に構想対象市町村として位置づける。

⇒今後、申入れがあった地域について、構想対象市町村として段階的に追加する。

＜構想対象市町村＞ 阿智村・清内路村

## IV 自主的な市町村の合併を推進するために必要な措置

- 県の役割及び必要な措置についての考え方
  - 合併新法下における更なる合併に向けて、市町村の自主的・主体的な取組を尊重しつつ、合併に向けた取組の各段階に応じ、合併機運の醸成や合併に向けた取組に対する支援を行うほか、合併を選択した市町村に対し、最大限の支援を行うなど、各地域の取組を積極的に支援する。
- 具体的な支援措置の内容
  - 長野県市町村合併支援方針の策定
  - 新長野県市町村合併支援本部の設置
  - 新長野県市町村合併支援プランによる支援
    - 市町村等への助言・情報提供 ●合併構想への位置づけ ●合併市町村基本計画の作成支援等
    - 人的支援 ●行財政に関する支援 ●施策分野別支援



## 県が合併支援策を提示

# 道路網の整備など12項目

合併協議会では、新しい村づくり計画に盛り込まれる長野県の事業について県に照会したところ、県から「地域道路網の整備」など12項目の支援事業の回答がありました。

合併新法下で長野県では初めてとなる阿智村・清内路村の合併について、県では積極的に支援する姿勢を示しています。

その主な内容については次のとおりです。

### 長野県の役割

県は、長野県市町村合併構想及び新長野県市町村合併支援プラン等に基づき、新村とも十分に連携しながら、円滑な行財政運営の確保及び均衡ある村づくりに向けた新村の取組みに対し、県として積極的に支援する。

### 新村における長野県事業

○地方バス路線の確保に関する支援

交通システムの再構築に向けた取組みに対し、助言や情報提供など、必要な支援を行う。

○福祉・保健・医療施策の充実

新村及び関係団体が行う福祉サービスの充実や福祉基盤の整備等の取組みを支援する。また、健康づくりや保健活動など、技術的支援を通して、地域住民の健康増進を図る。

○環境保全の推進

浄化槽の整備促進への財政支援や、上下水道の適切な維持管理、廃棄物のリサイクル促進等への技術的な支援を行う。

○魅力ある観光地づくりの推進

昼神温泉地区の観光再生モデル事業の支援、「食」の魅力向上やホスピタリティの向上などに取組む。

また、誘客の促進を図り、都市圏生活者との交流促進などを通して、地域の活性化を図る。

○多様な豊かな農業・農村づくりの推進

生産基盤の維持・保全や農村の安全な暮らしを守る取組みを支援する。

また、伝統野菜など地域の特色ある農産物の生産や、直

売所、農産加工施設、観光の連携による地域内産業の活性化を支援する。

○健全な森林づくりの推進

集落周辺の里山における地域ぐるみでの取組みの支援や、人材育成による集中的な間伐を推進する。

また、林道整備、治山事業を実施する。

○野生鳥獣被害対策への支援

被害防除対策、捕獲対策等への情報提供や技術支援、現地機関設置の野生鳥獣被害対策チームによる農林業被害集落への積極的な支援を行う。

○地域道路網の整備  
国道、県道の計画的な整備に取組む。  
(主要事業)

・国道 256号(上清〜黒川橋、昼神〜七々平)

・主要地方道 天竜公園阿智線(伍和、春日)

・一般県道 深沢阿南線(中ノ瀬〜阿南)

・一般県道 園原清内路線(園原、横川〜上清内路)

○治水対策の推進

河川改修工事や河川管理施設の修繕などを行い、洪水の氾濫を軽減する。

○土砂災害等対策の推進

砂防施設の設置を推進するとともに、警戒避難体制の整備を進める。

○学校教育の充実

学校統合にあたっては、教職員定数の激変緩和措置など学習環境の充実に配慮する。

○新市町村合併特別交付金などによる支援

新市町村合併特別交付金の交付、地域発元気づくり支援金の活用などにより地域づくりを支援する。

## 今後のスケジュール

日程	会議・内容等
20年8月	○第3回合併協議会 ○新しい村づくり計画 県正式協議 ○新しい村づくり計画 県正式協議回答
9月	○合併協定調印 ○9月議会 両村合併議決 ○県へ合併申請 ○県議会 廃置分合議決
10月	○県が総務省に廃置分合の届出
12月	○官報告示
21年3月	○合併 新村誕生

※会議の開催時期等は目安であり、今後変更となる場合があります。

## 阿智村・清内路村合併協議会事務局

所在地 〒395-0303

長野県下伊那郡阿智村駒場483番地  
阿智村役場内

連絡等 電話 0265-43-2220(内線270)

FAX 0265-43-3940

ホームページアドレス <http://amalgama.seinaiji.jp/>